

一般社団法人 中央酪農会議
平成 30 年度 JRA 事業全国報告会
“～酪農の今を学び、将来を考える～”

日時： 2019年3月25日(月) 13:30～16:30(受付 13:00～)

会場： エッサム神田ホール2号館 5階 大会議室(2-501)

一般社団法人 中央酪農会議(東京都千代田区)は、JRA事業「酪農経営・労働条件実態調査事業」における調査結果及びそこから得られた知見等、とくに労働問題と経営・作業条件の関係を明らかにすること、労働条件の改善に向けた取組の実践発表を内容とする報告会を、来る3月25日(月)に開催することにいたしました。

わが国酪農は近年、担い手の高齢化や減少等によって、生産基盤の脆弱化が各地で顕在化しており、新規就農者の不足時代を迎えて、産業としての持続可能性が危惧されています。この背景には、酪農経営における労働の周年拘束性(無休日)という特殊性に加え、飼養頭数規模の拡大にともなう労働時間の増大など過重労働問題があると言われています。

このような状況を踏まえて、JRA事業「酪農経営・労働条件実態調査事業・平成29年度経営実態調査分析事業(酪農全国基礎調査)」では、全国の酪農家を対象とするアンケート調査(悉皆調査)を実施し、酪農経営の実態や酪農家の経営意向等を把握すると共に、過去の調査結果との比較分析を通じて、酪農生産基盤の変化を明らかにしました。

また「平成30年度事例実態調査分析事業」では、労働条件をめぐる諸問題の解消に積極的に取り組んでいる酪農家を対象として、その実態を明らかにするため事例実態調査を実施しました。同調査では、労働条件を改善するための取組として、作業の外部化、省力化機械・施設の導入、放牧体系の確立、労働力の確保、経営の複合化、経営の協業化を取り上げ、その特徴を明らかにしました。

当日は、「平成29年度酪農全国基礎調査」の結果や、事例実態調査で得られた知見、酪農を取り巻く労働問題の現状、課題について本会議の並木、東北大学大学院教授伊藤房雄氏よりご説明させていただきます。

また、北海道及び都府県の酪農家の代表として、北海道からは農事組合法人サンエイ牧場代表理事組合長辻本正雄氏に、都府県の代表として熊本県の内ヶ島牧場内ヶ島賢勇氏に労働条件を改善するための取組の成果や課題等についてお話し頂く予定です。

お忙しい折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

<全国報告会に関するお問い合わせ>

担当: 並木 近藤 TEL: 03-6688-9841 / Mail: kondo@churaku.jp

【開催概要】

■日時：2019年3月25日(月) 13:30～(受付開始 13:00)

■会場：エッサム神田ホール 2号館 5階 大会議室(2-501)
東京都千代田区内神田 3-24-5 (TEL:03-3254-8787)



※会場は近隣のエッサム神田ではなく「エッサム神田ホール 2号館」でございます。
くれぐれもお気を付けください。

＜最寄り駅＞

- ・JR 神田駅 徒歩 2分
- ・東京メトロ銀座線神田駅 4番出口 徒歩 2分

■内 容(予定)

13:30 主催者挨拶

一般社団法人中央酪農会議 専務理事 迫田 潔

13:40 酪農家による労働条件改善の取組の成果と課題

農事組合法人 サンエイ牧場 代表理事組合長 辻本 正雄 氏
内ヶ島牧場 内ヶ島 賢勇 氏

14:50 休憩

15:00 平成30年度 JRA 事業からみる「経営実態調査結果のポイント」

一般社団法人中央酪農会議 参与 並木 健二

15:30 平成30年度 JRA 事業からみる「わが国酪農における労働問題とその対応策」

東北大学大学院 教授 伊藤 房雄 氏

16:30 閉会

<FAX 返信用紙>

中央酪農会議 全国報告会 事務局行

(FAX 番号:03-6681-5295)

一般社団法人 中央酪農会議

平成 30 年度 JRA 事業全国報告会

“～酪農の今を学び、将来を考える～”

日時： 2019年3月25日(月) 13:30～16:30 (受付 13:00～)

会場： エッサム神田ホール 2号館 5階 大会議室(2-501)

※印をお付け下さい。

ご出席

ご欠席

貴社名：

ご所属：

ご芳名：

(計 名)

TEL：

FAX：

※大変お手数ですが、3月15日(金)までにご出欠をお知らせ下さいますよう、お願い申し上げます。